

世界最高のナショナル・アカデミー（国民の総意の下に設立）

科学が国民及び人類共有の知的資源であり、科学の進歩と科学の成果の活用は国民及び人類の福祉に資するものがあるという確信。

科学の進歩に寄与し、科学の向上発達及び科学の成果を通じて、国民の福祉及び我が国の発展に貢献、ひいては人類社会の福祉に寄与。

国民に説明できる
選考方法

国民が納得できる
メンバー

会員が存分に働ける
ような仕組み

活動方針の
明確化

選考方法の見直し

- ・ 投票制の導入
- ・ 複数の方法*の組合せ 等

*コ・オプテーションを含む

高いダイバーシティ

科学の進歩や社会の変化に
応じて会員構成などが自律
的に変化し進化

選考助言
委員会

選考基準の
言語化

会員 : **very best** な人たち
(日本を代表する英知の集団)

特に優れた研究又は業績を有する科学者

大学等の研究者
産業界・国立研究開発法人の研究者
地方在住者
若手研究者
女性、外国人
等

- ・ 任期、定年等の見直し
- ・ 会員数の見直し
- ・ 連携会員制度の見直し

会長の在り方を見直し

- ・ リーダーシップの強化
- ・ 慎重かつ丁寧な選考
- ・ サポート体制の強化

事務局体制
の強化

運営助言
委員会

新法人発足時は特別な選考方法で選考